

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2008-36918(P2008-36918A)

【公開日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2006-212731(P2006-212731)

【国際特許分類】

B 4 1 F 15/26 (2006.01)

B 4 1 F 15/08 (2006.01)

G 0 1 B 11/00 (2006.01)

H 0 5 K 3/34 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 15/26 A

B 4 1 F 15/08 3 0 3 E

G 0 1 B 11/00 H

H 0 5 K 3/34 5 0 5 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月27日(2009.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スクリーンマスク上に形成された2箇所以上の任意パターン開口部を位置決め目標とし、基板表面の2箇所以上の任意パターンを使用し、画像処理に基づいて前記基板をスクリーンマスクに位置合わせし、基板面上にスクリーンマスクを介してペーストを塗布するスクリーン印刷装置において、

スクリーンマスク上に形成された前記パターン開口部の一部又は全てからなる第3のパターンおよび基板表面の任意パターンの一部又は全てからなる第1のパターンを各々検出する第1の手段と、前記第1又は第3のパターン各々に対する最終位置決め目標である第2及び第4のパターン各々の重心を各々検出する第2の手段と、前記第1及び第2の手段で検出された第1及び第3のパターン各々のウインドウ中心と上記第2の手段で検出された第2及び第4のパターン各々の重心との偏差を画像計測により演算する演算手段と、前記演算手段の演算結果に基づいてX Y テーブル各軸に対する補正係数を算出し登録する補正手段とを備え、生産運転中において第1及び第2の手段により第1～第4のパターンの中心点を検出後、X Y テーブル位置合わせ量演算を実施する際に、前記補正手段により登録された補正值を加算し、X Y テーブルの各軸の移動量を算出し位置決めする位置決め手段を備えたことを特徴としたスクリーン印刷装置。

【請求項2】

スクリーンマスク上に形成された2箇所以上に設けたパターン開口部を位置決め目標とし、基板表面の2箇所以上の任意パターンを使用し、画像処理に基づいて前記基板をスクリーンマスクに位置合わせし、基板面上にスクリーンマスクを介してペーストを塗布するスクリーン印刷装置における画像認識位置合わせ方法において、

位置決め目標位置及び被位置決め目標位置をH型図形モデルによるパターン形状マッチングにて検出し、位置合わせすることを特徴とした画像認識位置合わせ方法。